

令和3年度 ちゅーりっぷハウス自己評価まとめ

令和4年3月22日

ちゅーりっぷハウスでは、今年度の重点目標としてかかげた以下5つの目標に対して、全スタッフで振り返りをしました。来年度に向け、今年度の反省点を改善しながら保育の質向上に努めていきたいと思っております。

重点目標1、子ども一人ひとりの成長過程に合う援助を全スタッフで話し合い、共有しながら対応する。

具体的な取り組み

- ・スキルアップアドバイザーによりアドバイスを受けたことを全スタッフで共有し対応した。振り返りを行い、適した援助を行うようにした。
- ・過剰に援助してしまい、成長過程に合う援助ができない部分があった。

改善点

- ・保育会議の回数を増やし、子ども一人ひとりの細かな部分までの対応を話し合う。
- ・ありのままの子どもの姿を見て、一人ひとりの成長過程に合う援助を全スタッフで共有する。

重点目標2、子どもの興味関心に合わせた保育を行う。

具体的な取り組み

- ・興味関心を持ったことは一度で終わらず、繰り返して行き更に楽しみが味わえるようにした。
- ・子どもの発した言葉や遊ぶ状況を見て、子どもが自らやってみたいと思える環境を設定した。

改善点

- ・保育者が「楽しい」と思えることは子どもも「楽しい」と思えるので、アイデアを出し合いながら子どもと共に楽しむ。
- ・子どもが興味関心を持ってじっくり遊んでいるときは、見守りながらも言葉をかけて仲立ちしていく。

重点目標3、保護者と共に子どもの成長にとって何が一番良いかを考え、保護者が自ら子育てをする力を引き出す。

具体的な取り組み

- ・連絡ノートだけではなく、送迎時には保護者一人ひとりと園での姿を伝えながら子どもの成長した姿を伝えた。
- ・保護者の子育ての悩みや不安に共感しながら、一緒に考えてアドバイスができるように心がけた。

改善点

- ・保護者の悩みや質問に対しては、すぐに結論を出さずにいろいろな選択肢を出し保護者の方が判断できるようにしていく。
- ・家と園での子どもの姿を共有しながら、保護者と一緒に成長した喜びを感じる。

重点目標4、栽培、飼育体験を通して育つ喜びと命の大切さを学ぶ。

具体的な取り組み

- ・カブトムシやザリガニの飼育を通して、触ってみたいと思う気持ちが芽生えた。「やってみたい」と思う気持ちが友だちの姿を通して強くなった。
- ・サツマイモを栽培、収穫するだけではなくツルを使ってリースを作ったり、大きなかぶの物語にちなんでごっこ遊びをしたり遊びが発展することができた。

改善点

- ・感染症に留意しながら、食材に触れる機会を増やす。
- ・食育の一番の大切さは、お腹が空くリズムをつくることなので体を思い切り動かし心も体も満たされる保育内容を考えていく。

重点目標5、子どもの行動を把握し常に危険を予測しながら、子どもの安全を守る。

具体的な取り組み

- ・危険を感じたことはヒヤリハットとして全スタッフで共有し、危機管理を徹底するようになった。
- ・常に危険を予測し、子どもの安全を守る保育者の配置を考えながら保育を行った。

改善点

- ・危険を予測しながら、子どものやってみたいと思う気持ちを考え少し難しいことにも挑戦できるように援助する。
- ・小さな怪我から大きな怪我を防ぐよう、様々な経験から身体の使い方を学べるようにする。

令和4年度重点目標

- 1、子どもの姿を良く見て、ありのままの姿を受け止め一人ひとりに適した対応ができるようにする。
- 2、「楽しい」「やってみたい」と心から思える保育内容を考える。
- 3、保護者の思いに寄り添い、共感しながら子育てが楽しくなるように一緒に考え支援する。
- 4、お腹がすくリズムをつくり、食べたいと思う意欲を引き出す。
- 5、ヒヤリハットを通して、危機管理意識の向上を目指す。